

ディ ブ ロ マ ・ ポ リ シ ー	2つの力	人間力 自立した一人の人間として生きるための力			創造力 芸術の力を社会に活かすための力		
	6つの能力	知識・情報収集力	コミュニケーション力	倫理観	論理的思考力	発想・構想力	表現力
	内容	自分をとりまく人間、社会、自然に対して開かれた好奇心をもち、自身の学修や企画に必要な知識と情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる	人間の多様性を理解し、異なる価値観をもつ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる	自身の良心と社会の多元的な理解に基づき、社会のために芸術の力を活かすことができる	所与の情報をもとに、物事を分析的かつ論理的に考えることができる	感性的な直観と理性的な分析や思考から得られた発想を統合し、具体的な研究・制作へと結びつくテーマや仮説として構想することができる	テーマや仮説を、適切な媒体・形式によってモノ・コトとして可視化し提示することができる
学科別 内容		過去から現在に至る芸術・文化・歴史・社会・思想に対して開かれた好奇心をもち、自己成長や作品制作・研究に必要な情報を主体的かつ体系的に収集し理解することができる	人間・文化・歴史・社会・思想の多様性を理解し、異なる価値観や立場をもつ人々との共生・創発を実現するため協働することができる	芸術・文化・歴史・社会・思想などの多元的な理解を軸として、常に他者への想像力と反省的視点をもって自らの知識や技術・能力を適切に社会に活かすことができる	芸術、文化、歴史、社会、思想などの知識をもとに、物事を学際的・分析的な批判的思考や論理的整合性を持って捉えることができる	豊かな想像力や感性と自身の専門性に基づく分析や思考とを組み合わせた柔軟な発想によって、理論と実践や制作と研究などの垣根を横断したテーマや仮説を構想することができる	自らのテーマや仮説を論理的に整理しつつも、それらの枠にとらわれない独創的な新基軸を持って具体化することができる
学年	Q	段階	専門科目（必修）	専門科目（選択）	専門科目（選択）※コース別	芸術教養科目（必修）	芸術教養科目（選択）※履修推奨

4	16	発展	卒業研究・制作（8単位） 4年間の集大成 卒業研究・制作の仕上げ						
	15							領域研究5（2単位） 卒業研究・制作の中間発表と フィードバック	
	14								
	13						領域研究4（2単位） 卒業研究・制作の プランニング・リサーチと発表		
3	12	応用	進級研究・制作3（4単位） 自主制作・研究の追考、ディスカッション・フィードバック・ブラッシュアップ、領域横断						
	11					表現研究2（2単位） 領域横断型プロジェクト2	キュレーション論（2単位） キュレーションの技法	領域研究3（2単位） 自主研究・制作の仕上げと 成果発表(学生作品展)	
	10					超域文化特論（2単位） クリティカル・シンキング	コンピュータ応用演習（2単位） プレゼンテーションスキルの実装	領域研究2（2単位） 自主研究・制作の中間発表と フィードバック	
	9							日本画応用演習2（2単位） 日本画から自己表現につなげる	
			就職対策特講（1単位） インターンシップ・就職活動に 向けて、準備＆実践する	プロフェッショナル研究（2単位） セルフプロデュース・キャリア研究		表現研究1（2単位） 領域横断型プロジェクト1	領域研究1（2単位） 自主研究・制作の プランニング・リサーチと発表	日本画応用演習1（2単位） 描画から着想の広げ方を学ぶ	
2	8	基礎	進級研究・制作2（4単位） 専門技術・知識を用いた研究・作品の発表						
			キャリアデザイン研究（2単位） 様々なキャリアを知り、自身の進路の可 能性を広げ、見通しを立てる	現代社会とアート（2単位） 現代における社会問題と芸術の役割	デッサン演習2（2単位）1年推奨 観察力や構造理解の更なる向上を 目指し、人体と石膏像を描く				
	キャリア研究応用（1単位） 自己と職業への理解を深め、インターン シップの準備と実践を行う			アートマネジメント論（2単位） はじめてのアート・マネジメント	デッサン演習1（2単位）1年推奨 観察力を鍛える・形の構造を捉える： 基本形体と静物を描く	日本画基礎演習4（2単位） 現実以上のリアリティを導き出す			
	京都の美術初歩（1単位） これだけは知っておきたい 京都の美術			美術工芸基礎2（2単位） 研究・制作と社会への接続		彫刻基礎演習（2単位）※教職 彫刻分野の基礎を身につける。			
	美術解剖学（1単位）2年推奨 骨や筋肉から身体の構造を学ぶ			伝統文化演習7（2単位） 和装を学ぶ		デザイン基礎演習（2単位）※教職 デザイン分野の基礎を身につける。			
	素材論（1単位） 「素材」を科学的、歴史的に考える					絵画基礎演習（2単位）※教職 絵画分野の基礎を身につける。			
					工芸基礎演習（2単位）※教職 工芸分野の基礎を身につける。				
	色彩論1（1単位） 色彩を感じ 「色」を科学的に考える								
	色彩論2（1単位） 「色」を科学的に捉え表現する								
	世界芸術史（2単位） アートを生み出す人間の足跡を辿る					日本画基礎演習3（2単位） 日本画材で描くための 最初のいろはを学ぶ			
	日本画基礎演習2（2単位） 動勢の捉え方を学ぶ								
	日本画基礎演習1（2単位） 日本画材の特性を利用する		記録文化論（2単位） アーカイブ理論		美術工芸基礎1（2単位） イメージの起源に迫る	彫刻基礎演習（2単位）※教職 彫刻分野の基礎を身につける。			
						デザイン基礎演習（2単位）※教職 デザイン分野の基礎を身につける。			
						絵画基礎演習（2単位）※教職 絵画分野の基礎を身につける。			
						工芸基礎演習（2単位）※教職 工芸分野の基礎を身につける。			

ディ ブ ロ マ ・ ポ リ シ ー	2つの力	人間力 自立した一人の人間として生きるための力			創造力 芸術の力を社会に活かすための力		
	6つの能力	知識・情報収集力	コミュニケーション力	倫理観	論理的思考力	発想・構想力	表現力
	内容	自分を取りまく人間、社会、自然に対して開かれた好奇心をもち、自身の学修や企画に必要な知識と情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる	人間の多様性を理解し、異なる価値観をもつ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる	自身の良心と社会の多元的な理解に基づき、社会のために芸術の力を活かすことができる	所与の情報をもとに、物事を分析的かつ論理的に考えることができる	感性的な直観と理性的な分析や思考から得られた発想を統合し、具体的な研究・制作へと結びつくテーマや仮説として構想することができる	テーマや仮説を、適切な媒体・形式によってモノ・コトとして可視化し提示することができる
学科別 内容		過去から現在に至る芸術・文化・歴史・社会・思想に対して開かれた好奇心をもち、自己成長や作品制作・研究に必要な情報を主体的かつ体系的に収集し理解することができる	人間・文化・歴史・社会・思想の多様性を理解し、異なる価値観や立場をもつ人々との共生・創発を実現するため協働することができる	芸術・文化・歴史・社会・思想などの多元的な理解を軸として、常に他者への想像力と反省的視点をもって自らの知識や技術・能力を適切に社会に活かすことができる	芸術、文化、歴史、社会、思想などの知識をもとに、物事を学際的・分析的な批判的思考や論理的整合性を持って捉えることができる	豊かな想像力や感性と自身の専門性に基づく分析や思考とを組み合わせた柔軟な発想によって、理論と実践や制作と研究などの垣根を横断したテーマや仮説を構想することができる	自らのテーマや仮説を論理的に整理しつつも、それらの枠にとらわれない独創的な新基軸を持って具体化することができる
学年	Q	段階	専門科目（必修）	専門科目（選択）	専門科目（選択）※コース別	芸術教養科目（必修）	芸術教養科目（選択）※履修推奨

1	4	入 門	進級研究・制作1（2単位） 学びの定着 - ドキュメントブックの制作																			
			超域文化論（2単位） 知を遊ぶ				デッサン演習 2（2単位）1年推奨 観察力や構造理解の更なる向上を 目指し、人体と石膏像を描く															
			文化資源学概論（2単位） 文化資源の価値と文化財保存修復に関する 制度を知る																			
	工芸概論（2単位） 近代以降の日本の工芸		キャリア研究基礎（1単位） 理想の学生生活・将来設計 （進路）をつくる		伝統文化演習 7（2単位） 和装を学ぶ		デッサン演習 1（2単位）1年推奨 観察力を鍛える・形の構造を捉える： 基本形体と静物を描く		日本画入門演習3 （2単位） 見るから捉えるへ、 写生から絵作りを学ぶ		美術工芸入門3（2単位） 先例をまねぶ											
	アカデミックリサーチ（1単位） 研究・制作のための調査と 情報収集の方法を学ぶ								図学（2単位） 「かたち」を思考・認識し、 描き、伝達する													
	夏												デッサン演習 3（2単位）1年推奨 観察力や構造理解の集大成として、 人間を（人体ヌード）を描く									
	2		芸術教養論（1単位） 大学での学び方を学ぶ						デッサン演習 2（2単位）1年推奨 観察力や構造理解の更なる向上を 目指し、人体と石膏像を描く													
			美術工芸入門 2（2単位） みることの探求-調査と観察																			
			文化遺産論（2単位） 文化遺産の意義と価値を知る																			
			美術概論（2単位） 近代以降の美術、制作者にとっての 美術史・作品研究																			
			日本画入門演習2（2単位） 日本画材で描くための 最初のいろはを学ぶ																			
			美術史2（1単位） ヨーロッパの美術の 基礎的な歴史を学ぶ																			
	1		美術論2（1単位） 20世紀前半の西洋美術論の 日本における受容と展開																			
			芸術文化概論（2単位） 京都芸術大学で美術工芸を 学ぶことの意義を知る												芸術立国論（1単位） 京都芸術大学を学ぶ		デッサン演習 1（2単位）1年推奨 観察力を鍛える・形の構造を捉える： 基本形体と静物を描く		日本画入門演習1 （2単位） 色と形の世界を五感で表現する		美術工芸入門 1（2単位） みることの探求-認知と描写	
			美術史1（1単位） 日本・中国の美術の 基礎的な歴史を学ぶ												伝統文化演習 7（2単位） 和装を学ぶ							
			美術論1（1単位） 19世紀の西洋美術論の 日本における受容と展開																			
情報リテラシー（1単位） 情報を活用するうえでの 基礎知識を修得する																						